

**A D W A Y S**

**FEBRUARY 2021  
PRESENTATION  
MATERIAL**

**FEBRUARY 10, 2021**

**3Q**

東証マザーズ：2489  
株式会社アドウェイズ  
2021年3月期第3四半期  
決算説明会  
2021年2月10日

**THIRD  
QUARTER**

代表取締役社長  
岡村 陽久

# 目次

1. 第3四半期の業績 ...P.4
2. 事業概況 ...P.19
3. 補足資料 ...P.37

# 東京証券取引所市場第一部へ 上場市場変更

当社株式の上場市場が2020年12月7日付で、東京証券取引所マザーズ市場から東京証券取引所市場第一部に市場変更されました。

これもひとえに株主の皆様、お取引先の皆様をはじめとして、これまで当社を支えてくださったステークホルダーの皆様の  
ご支援とご高配の賜物と、心より感謝申し上げます。

# 1 第3四半期の業績

- Chapter1 : **Third quarter results**

# 当第3四半期累計の業績と 前年同四半期比較

[ 単位：百万円 ]

	2021年3月期 第3四半期累計	前年同期比 2020年3月期第3四半期累計		
		実績	増減額	増減率
売上高	33,454	27,149	+6,304	+23.2%
売上総利益	6,186	4,649	+1,536	+33.1%
販管費	5,107	4,650	+456	+9.8%
営業利益	1,079	▲1	+1,080	—
経常利益	1,305	141	+1,163	+919.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	907	▲144	+1,051	—

売上高 前年同期比 **63億4百万円の増加** (23.2%増)

営業利益 前年同期比 **10億80百万円の増加** (-)

# 当四半期の業績と 前年同四半期・前四半期比較

[ 単位：百万円 ]

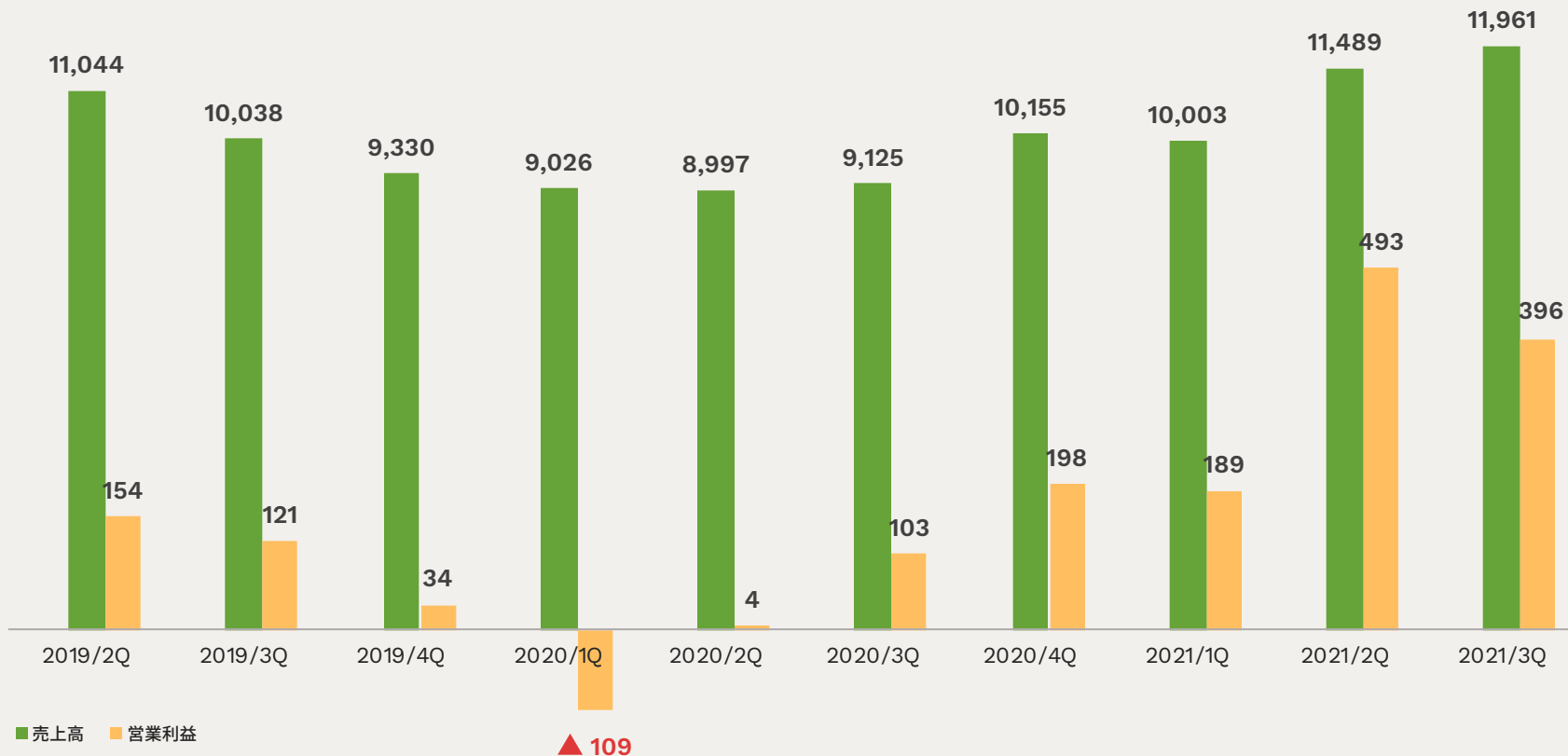
	2021年3月期 第3四半期	前年同四半期比 2020年3月期第3四半期			前四半期比 2021年3月期第2四半期		
		実績	増減額	増減率	実績	増減額	増減率
売上高	11,961	9,125	+2,835	+31.1%	11,489	+471	+4.1%
売上総利益	2,192	1,680	+512	+30.5%	2,189	+2	+0.1%
販管費	1,795	1,576	+219	+13.9%	1,696	+99	+5.8%
営業利益	396	103	+293	+282.0%	493	▲96	▲19.5%
経常利益	438	163	+275	+168.9%	636	▲197	▲31.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	315	83	+232	+279.2%	413	▲97	▲23.6%

売上高 前年同四半期比 **28億35百万円の増加** (31.1%増)  
前四半期比 **4億71百万円の増加** (4.1%増)

営業利益 前年同四半期比 **2億93百万円の増加** (282.0%増)  
前四半期比 **96百万円の減少** (19.5%減)

# 四半期売上高・営業利益 (2019年3月期第2四半期以降)

単位：百万円



売上高 **四半期での過去最高額を更新。**

営業利益 **2020年3月期第2四半期以降営業利益が改善。**



# 2021年3月期 業績予想の修正

[ 単位：百万円 ]

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
前回発表予想	44,355	824	1,010	525
今回修正予想	47,200	1,230	1,400	900
増減額	2,845	406	390	375
増減率	6.4%	49.3%	38.6%	71.4%

「前回発表予想」とは2020年11月6日付け「通期業績予想の修正に関するお知らせ」にて発表した数値。



# 2021年3月期業績予想と実績

[ 単位：百万円 ]

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
前回発表予想	44,355	824	1,010	525
今回修正予想	47,200	1,230	1,400	900
実績	33,454	1,079	1,305	907
前回発表予想 に対する進捗率	75.4%	131.0%	129.3%	172.8%
今回修正予想 に対する進捗率	70.9%	87.8%	93.3%	100.8%

「前回発表予想」とは2020年11月6日付け「通期業績予想の修正に関するお知らせ」にて発表した数値。

# 2021年3月期第4四半期 業績予想

[ 単位：百万円 ]

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
2021年3月期 第3四半期 実績	11,961	396	438	315
2021年3月期 第4四半期 業績予想	13,745	150	96	▲7
増減額	1,784	▲246	▲344	▲322

**売上高** 期末のため広告需要が増加し、売上高が増加。

**営業利益** セールスマックスの変化による粗利率の低下、及び人員増強120百万円、上場関連費用193百万円（役員賞与、賞与、業務効率化）等の販管費が増加したことにより、営業利益が減少。

**経常利益** 営業利益の減少、海外取引の増加による為替差損の増加に伴い減少。

**四半期純利益** 経常利益の減少に伴い減少。

# 株主還元

当社株式の上場市場が東京証券取引所市場第一部に市場変更されたこと並びに当社が設立20周年を迎えることを記念し、1株当たり配当金1円の記念配当を実施することを予定しております。

**2021年3月期 期末配当予想 1株当たり5円33銭**

配当方針（普通配当）

配当性向 **20%** もしくは **1株当たり2円60銭** の高い方

**普通配当予想**  
(配当性向20%の額) **1株当たり4円33銭**

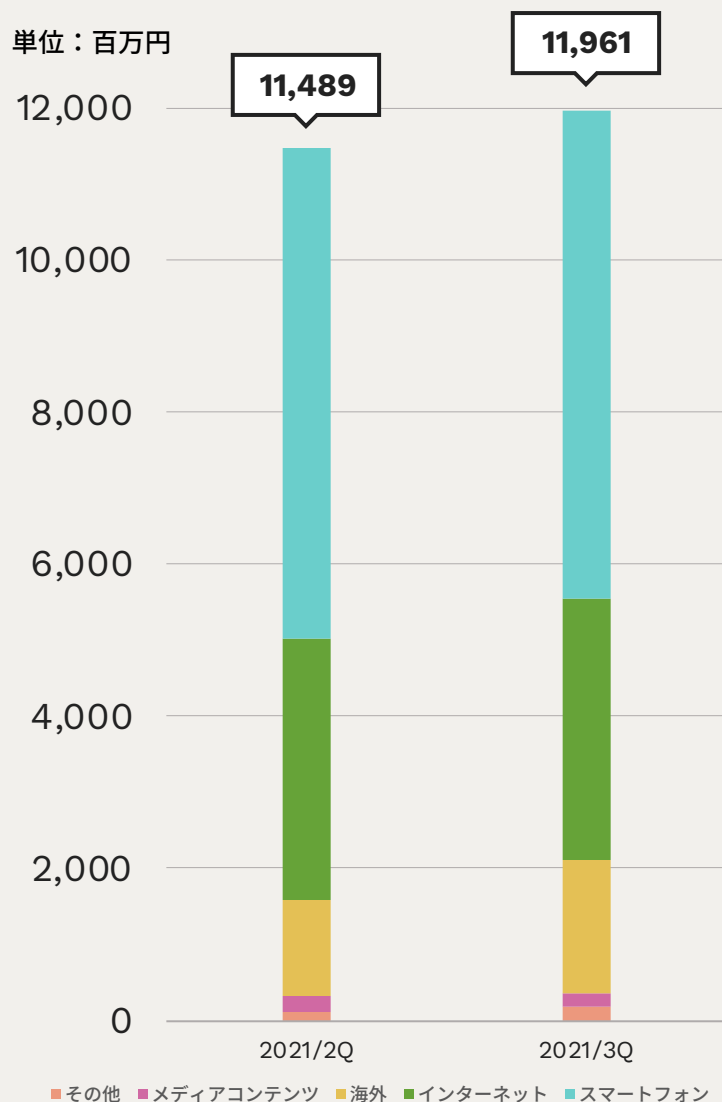
+

**記念配当** **1株当たり1円00銭**

普通配当予想は業績予想から配当性向20%を算出しておりますので、業績の結果により配当金額は変動いたします。

# 売上高の前四半期比較

単位：百万円



■ その他 ■ メディアコンテンツ ■ 海外 ■ インターネット ■ スマートフォン

Copyright © Adways Inc. All Rights Reserved.

## 国内広告業・・・98億37百万円

前四半期比：67百万円減（0.7%減）

## スマートフォン・・・64億8百万円

（主にアプリ広告）

前四半期比：50百万円減（0.8%減）

新規ゲームアプリのリリースに伴い広告費が増加したものの、マンガアプリ等の広告費の減少があり微減。

## インターネット・・・34億29百万円

（PCWeb広告及びスマートフォンWeb広告）

前四半期比：16百万円減（0.5%減）

ローンやクレジットカードの金融クライアント等の広告費が増加したものの、ECクライアントの広告費の減少があり微減。

## 海外事業・・・17億44百万円

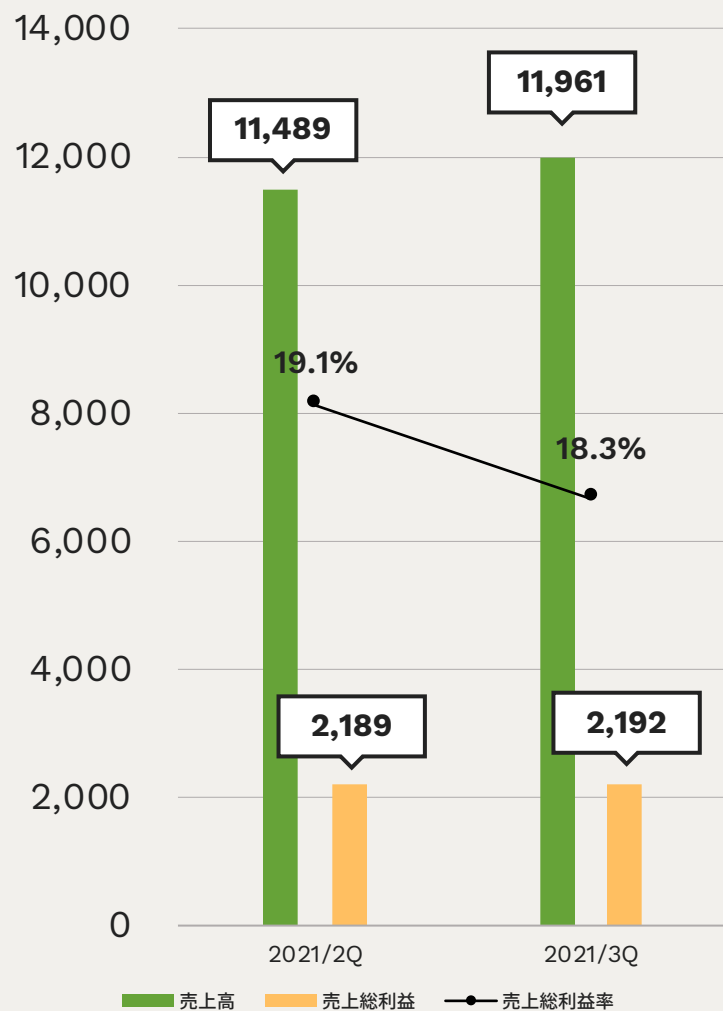
前四半期比：4億82百万円増（38.3%増）

中国クライアントの国外展開強化に伴う、グローバル広告配信により広告費が増加。台湾でブランド広告が伸長。

※海外子会社の決算期は12月のため、当社グループにおける2021年3月期第3四半期会計期間の連結決算対象期間は7月～9月となります。

# 売上総利益の前四半期比較

単位：百万円



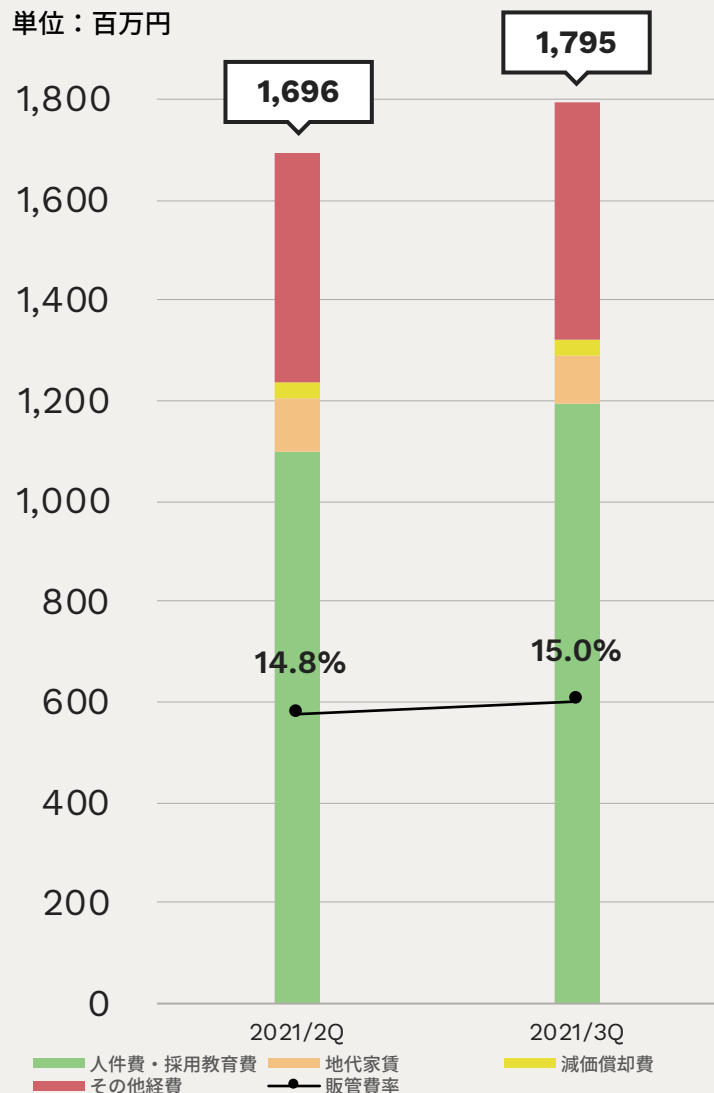
**当四半期売上総利益 21億92百万円**

前四半期比：2百万円増（0.1%増）

売上総利益率：18.3%（0.8ポイント減）

# 販管費の前四半期比較

単位：百万円



## 当四半期販管費 17億95百万円

前四半期比：99百万円増（5.8%増）

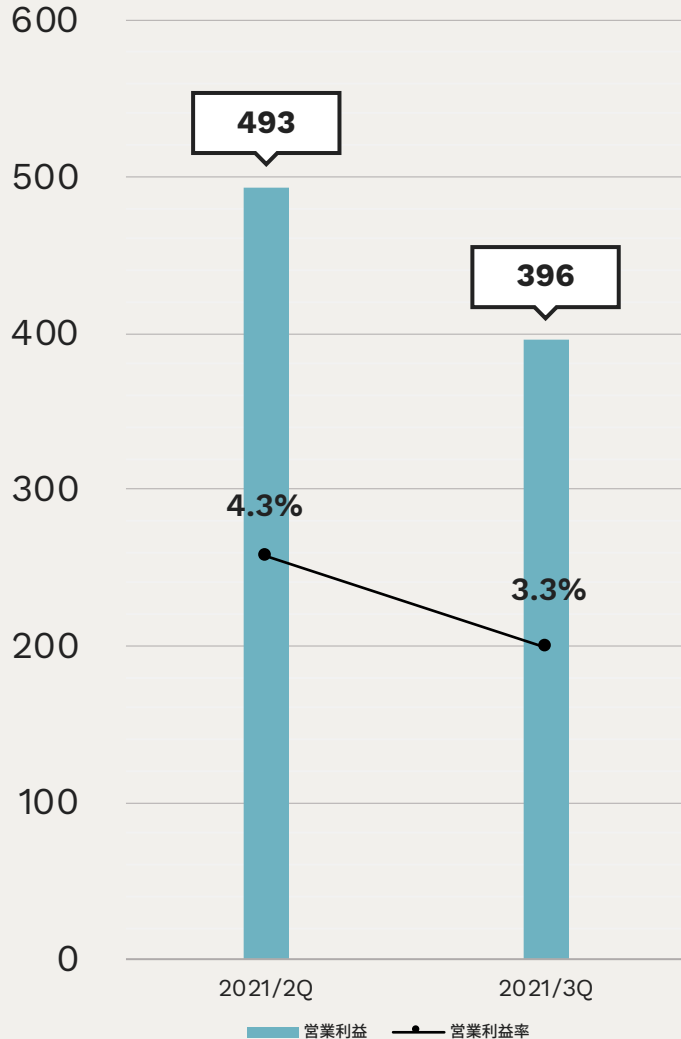
販管費率：15.0%（0.2ポイント増）

### 主な増加要因

・人件費・採用教育費の増加：約96百万円増

# 営業利益の前四半期比較

単位：百万円



**当四半期営業利益 3億96百万円**

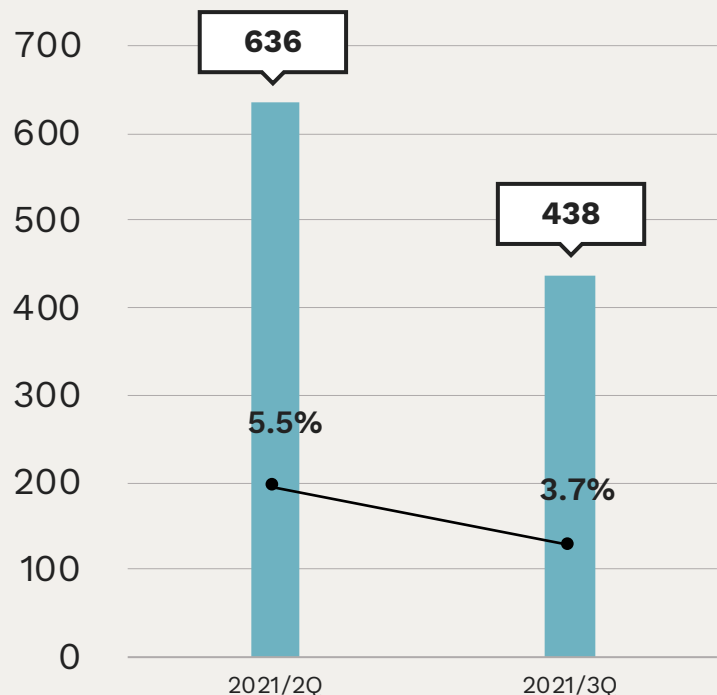
当四半期比：96百万円減（19.5%減）

営業利益率：3.3%（1.0ポイント減）



# 経常利益の 前四半期比較

単位：百万円



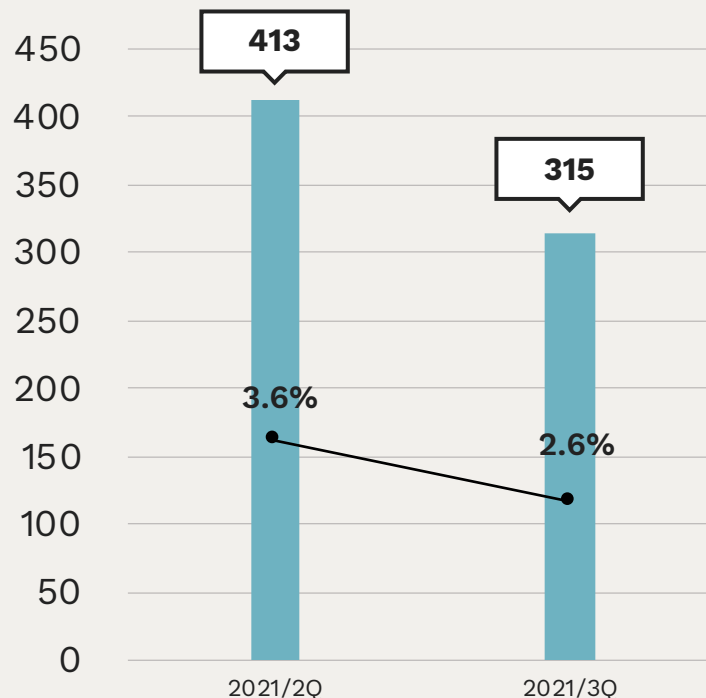
**当四半期経常利益 4億38百万円**

前四半期比：1億97百万円減（31.1%減）

経常利益率：3.7%（1.8ポイント減）

# 親会社株主に帰属する 四半期純利益の 前四半期比較

単位：百万円



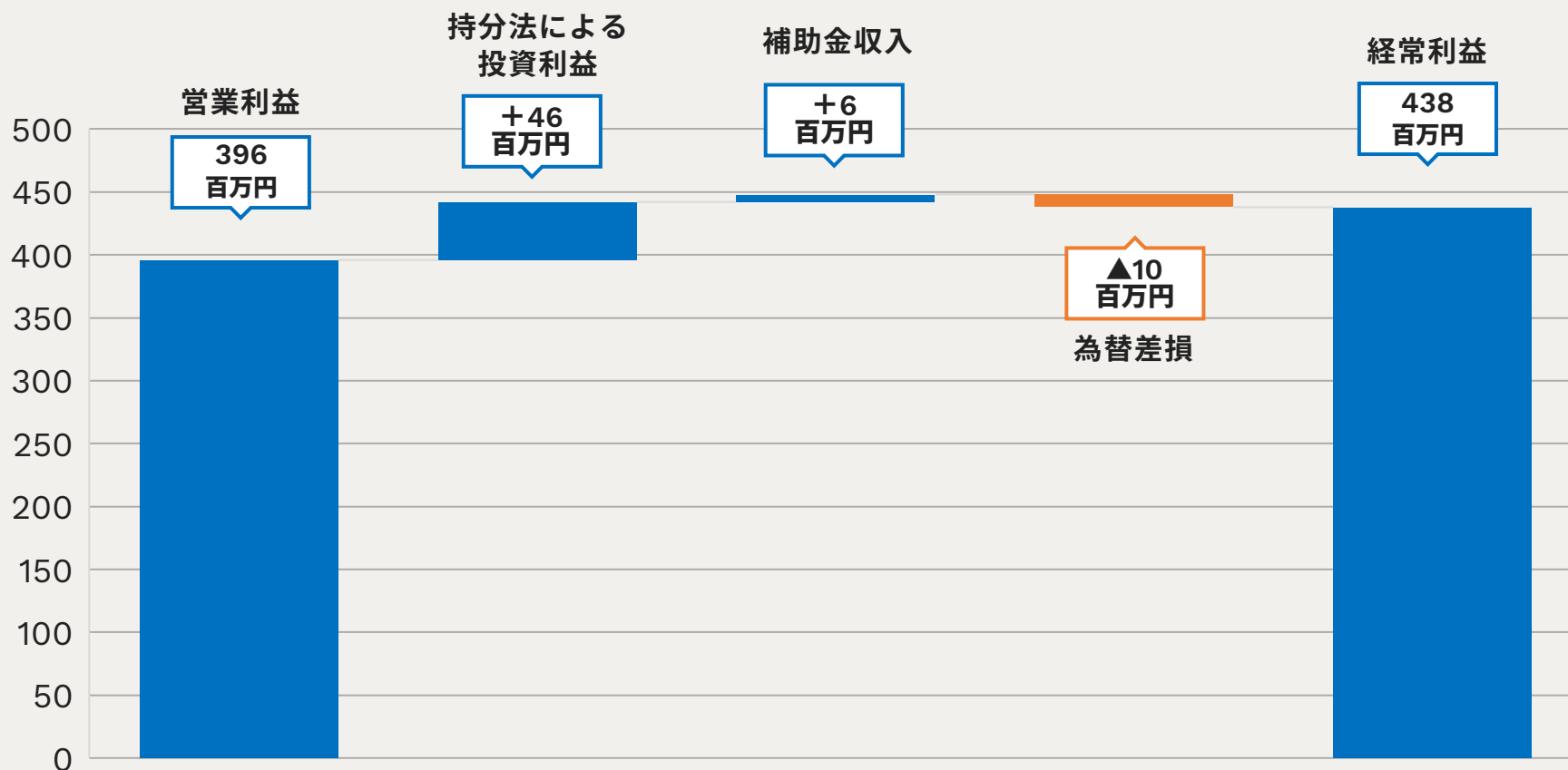
親会社に帰属する

**当四半期純利益 3億15百万円**

前四半期比：97百万円減（23.6%減）

利益率：2.6%（1.0ポイント減）

# 経常利益の推移



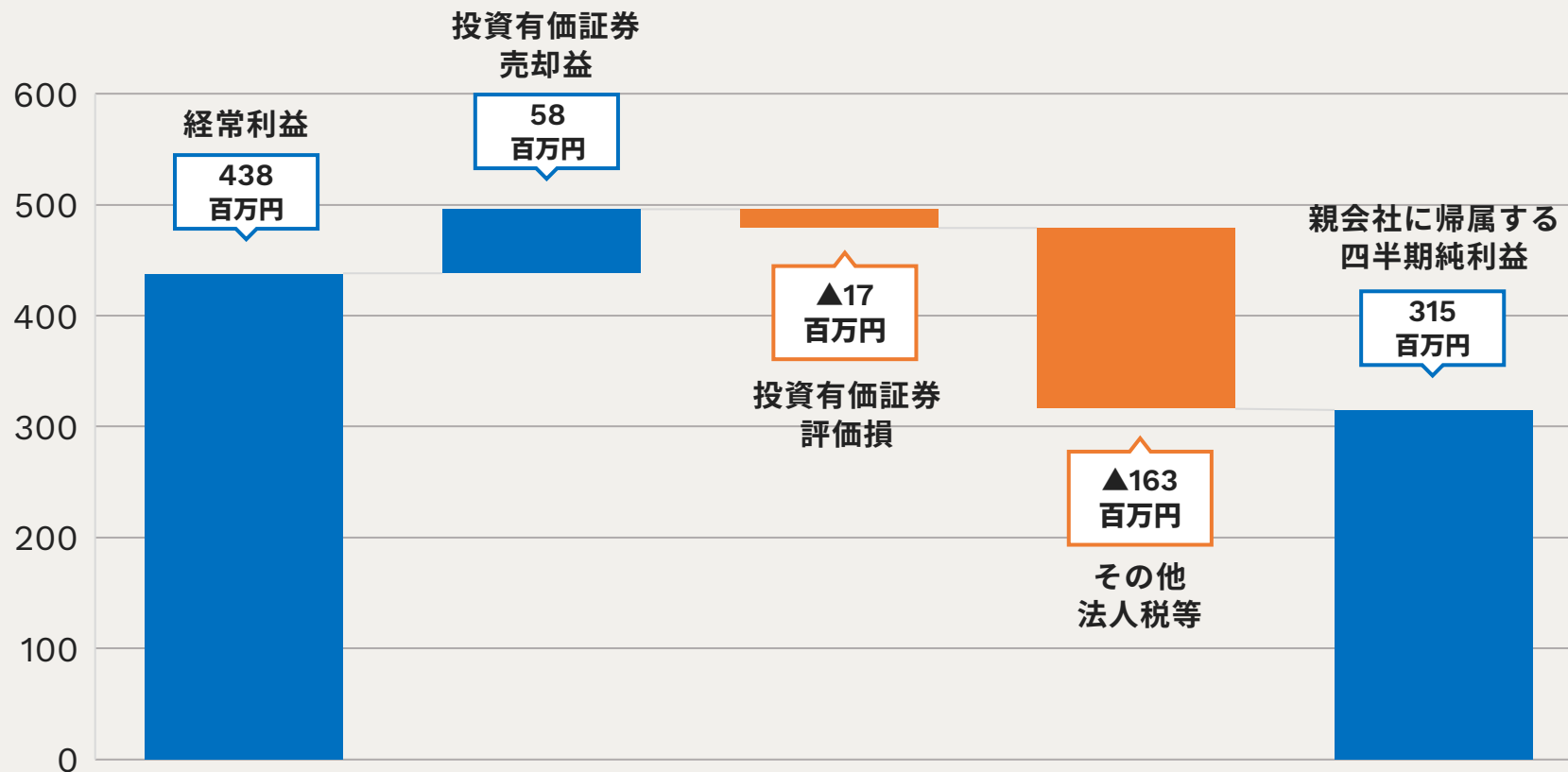
単位：百万円

持分法による投資利益 . . . 46百万円

為替差損 . . . ▲10百万円

補助金収入 . . . 6百万円

# 親会社株主に帰属する四半期純利益の推移



単位：百万円

投資有価証券売却益 . . . . . 58百万円

投資有価証券評価損 . . . . . ▲17百万円

その他法人税等 . . . . . ▲163百万円

# 2.

Chapter 2 : business overview

事業概況

# 新型コロナウイルス(COVID-19)の影響について

当社グループの事業領域がオンライン中心のため、2021年3月期第2四半期に引き続き2021年3月期第3四半期についても、業績に対する大きな影響はありませんでした。

※下記は、新型コロナウイルスの影響のみについての記載となり、通常の営業活動による売上高・利益の増減は考慮しておりません。

## マンガアプリ

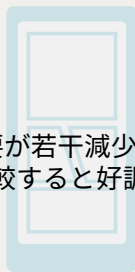
事業規模：大

【第3四半期（実績）】影響：多少プラス

外出自粛の緩和により、第2四半期と比較すると需要が若干減少したものの、新型コロナウイルス感染症拡大前と比較すると好調。

【第4四半期（見込）】影響：プラス

緊急事態宣言の再発令による需要の再増加に伴い、第3四半期と比較して広告費が増加する見込。



## VOD（ビデオ オン デマンド）

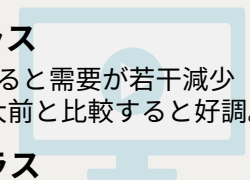
事業規模：中

【第3四半期（実績）】影響：多少プラス

外出自粛の緩和により、第2四半期と比較すると需要が若干減少したものの、新型コロナウイルス感染症拡大前と比較すると好調。

【第4四半期（見込）】影響：多少プラス

第3四半期の状況が継続する見込。



## 金融

事業規模：大

【第3四半期（実績）】影響：なし

個人消費支出の回復に伴い、減少していた個人向けローン、クレジットカードなどの検索数が増加した事により、広告費も増加。

【第4四半期（見込）】影響：多少マイナス

緊急事態宣言の再発令により、個人消費支出が減少し、個人向けローン、クレジットカードなどの検索数の減少が見込まれるため、広告費も減少する見込。

## コマース

事業規模：小

【第3四半期（実績）】影響：なし

オンラインでの消費行動の増加により順調であった販売が、新型コロナウイルス感染症拡大前の状況に戻る。

【第4四半期（見込）】影響：なし

第3四半期の状況が継続する見込。



# 新型コロナウイルス(COVID-19)の影響について

当社グループの事業領域がオンライン中心のため、2021年3月期第2四半期に引き続き2021年3月期第3四半期についても、業績に対する大きな影響はありませんでした。

※下記は、新型コロナウイルスの影響のみについての記載となり、通常の営業活動による売上高・利益の増減は考慮しておりません。

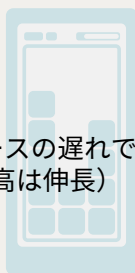
## ゲームアプリ 事業規模：大

### 【第3四半期（実績）】影響：多少マイナス

第2四半期に引き続き、開発社の状況から新規リリースの遅れで広告出稿の遅れも発生。（通常の営業活動により売上高は伸長）

### 【第4四半期（見込）】影響：多少マイナス

第3四半期の状況が完全には回復しない見込。



## 海外広告 事業規模：中

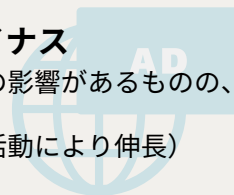
※海外子会社の決算期は12月のため、第3四半期は7～9月、第4四半期は10～12月となります。

### 【第3四半期（実績）】影響：多少マイナス

中国、台湾のブランド広告事業はマイナスの影響があるものの、アプリ広告事業には影響なし。  
（ブランド・アプリ広告事業は通常の営業活動により伸長）

### 【第4四半期（見込）】影響：なし

ブランド広告事業は回復する見込。  
アプリ広告事業は引き続き影響がない見込。



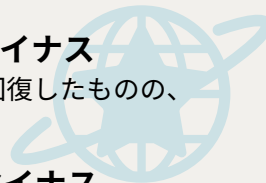
## ブランド 事業規模：小

### 【第3四半期（実績）】影響：多少マイナス

ブランド広告主の出稿控えが一定程度は回復したものの、完全には回復せず。

### 【第4四半期（見込）】影響：多少マイナス

第3四半期の状況が完全には回復しない見込。



※越境EC事業については、事業規模が微小なため、今回から記載を除いております。

# SDGs（持続可能な開発目標） 当社グループの取り組みへの考え方

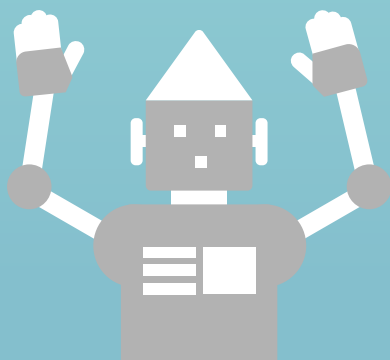
「社会への貢献」「人への貢献」を基盤として、「地方・地域の活性」「次世代・女性のエンパワーメント」のほか、当社グループの事業を通して「イノベーション（技術革新）」を起こす事により、高度なデジタル技術を活用し、「経済発展と社会的課題の解決を両立するデジタル社会」の実現に貢献して参ります。

## 経済発展と社会的課題の解決を 両立するデジタル社会





# 人と機械の共生



人にはできないことを  
機械化

機械にはできないことを  
人に集約

+ パフォーマンスの**最大化** +



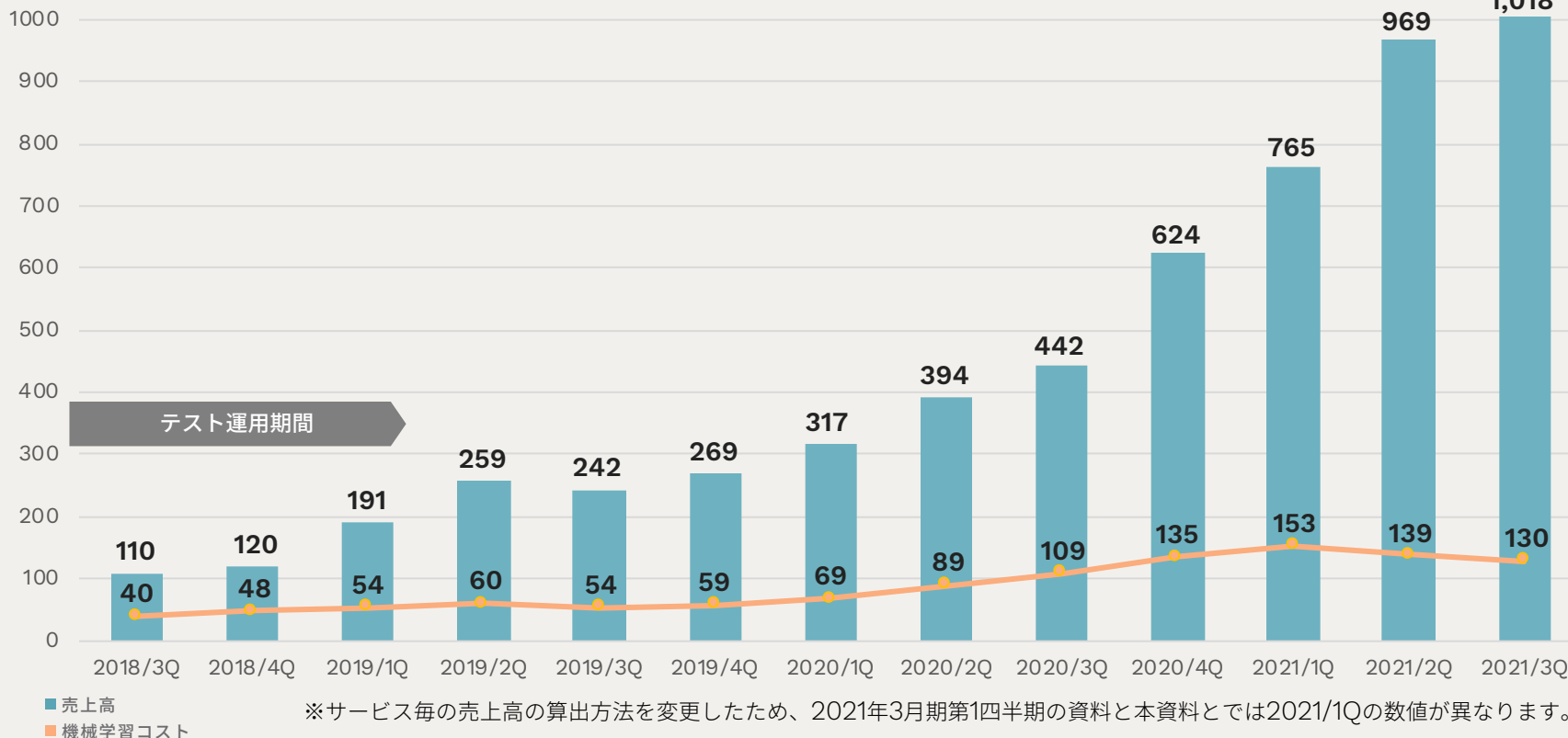
**UNICORN**  
**REDEFINE DIGITAL MARKETING.**

# UNICORNの進捗

third quarter

## UNICORNの売上高／機械学習コスト推移

単位：百万円



**売上高は前年同期の230%と大幅に伸長。  
引き続き、機械学習も加速させ順調に精度を向上。**

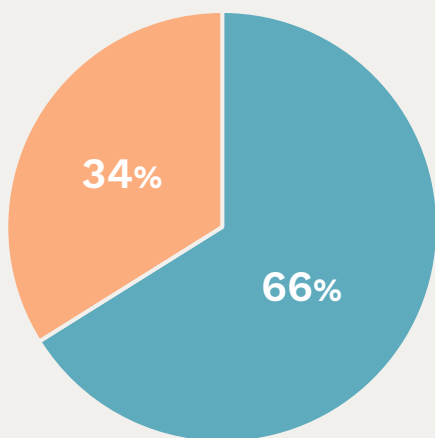
About UNICORN

# UNICORNの進捗

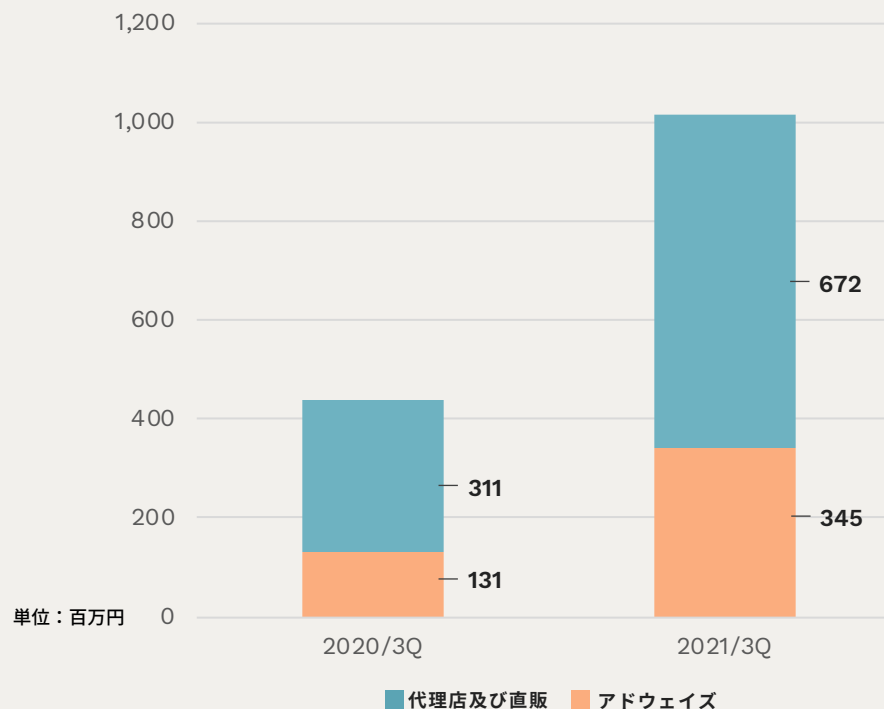
third quarter

## 代理店への販売状況

2021年3月期3Q実績



■ 代理店及び直販  
■ アドウェイズ



## UNICORNを主要代理店に開放



※名称順

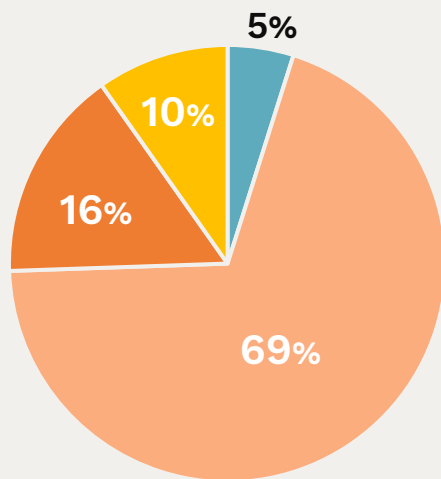
About UNICORN

# UNICORNの進捗

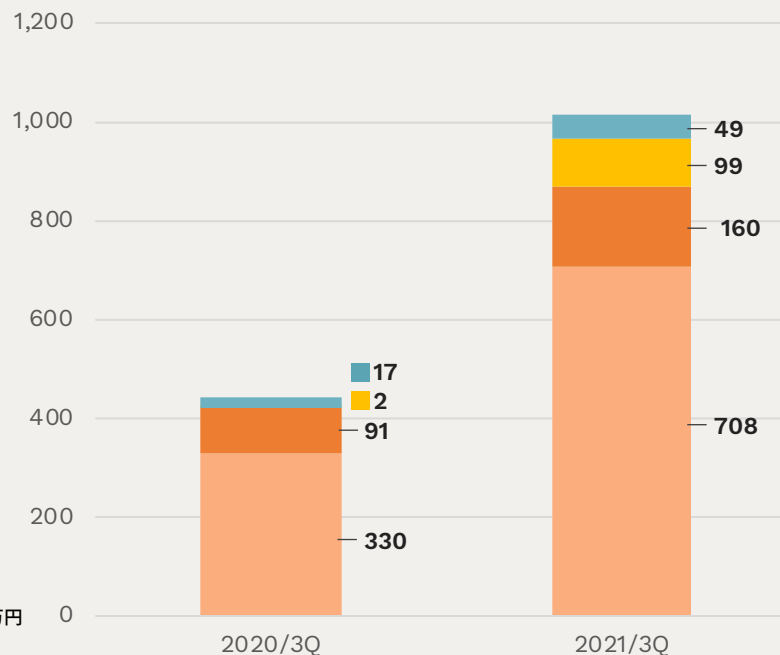
third quarter

## ジャンル別進捗

2021年3月期3Q実績



■ その他 ■ VOD ■ ゲーム ■ マンガ



単位：百万円

■ その他 ■ VOD ■ ゲーム ■ マンガ

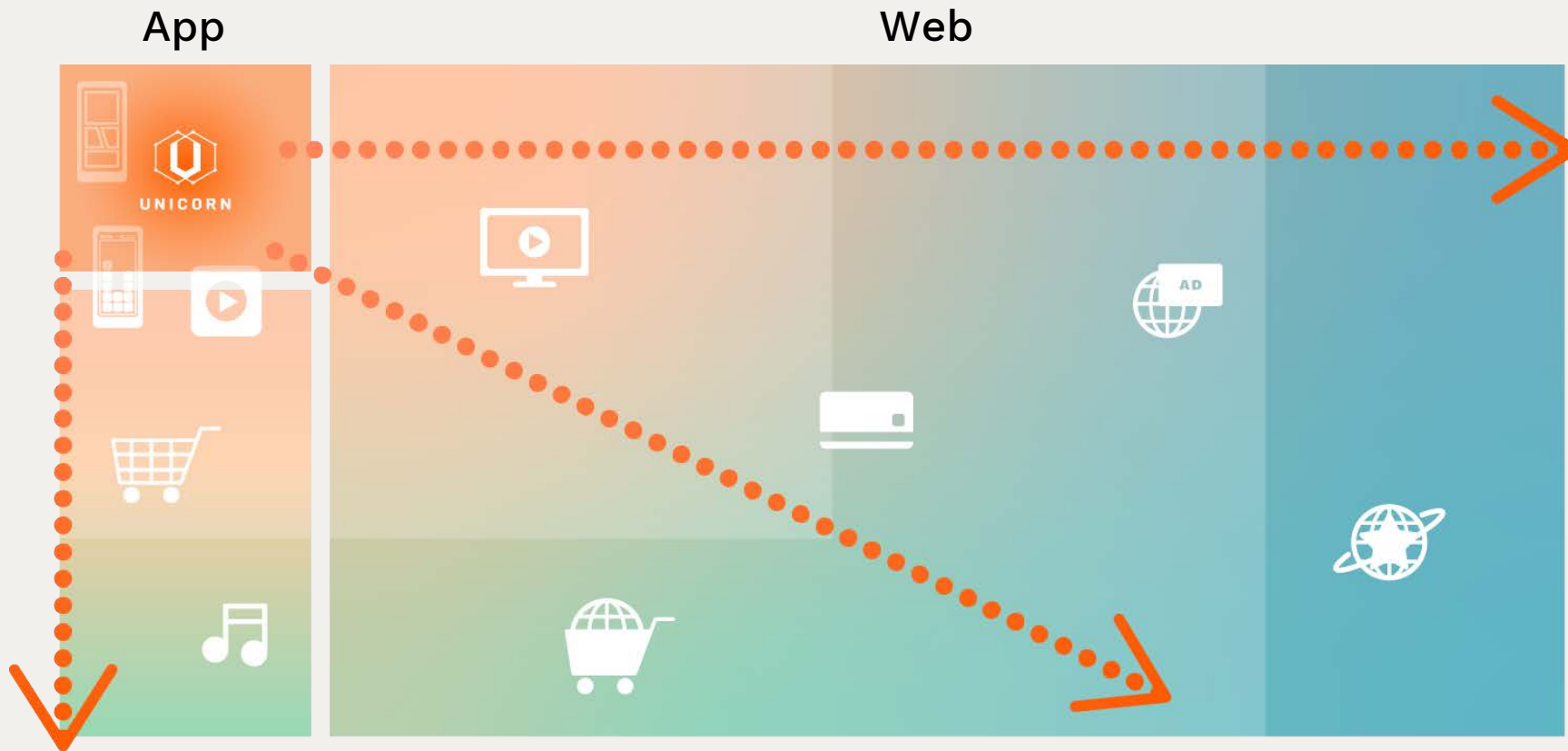
## 各ジャンルで伸長

VODは前年同期比で大幅に増加。  
ゲーム・マンガ・その他も順調に推移。

About UNICORN

# UNICORNの可能性

third quarter



**Web領域クライアントの拡大を進め  
更なる成長を続ける。**

About UNICORN

ブランド広告主

への

取り組み



# 先進的な広告手法 UNICORN Interactive AD



**最先端の  
クリエイティブ  
フォーマット**

Banner / Video  
Reward Video  
Native / Interactive



**UNICORNでの  
高精度な  
ターゲティング**

コンテキスト / ロケーション  
デモグラフィック  
キャリア / 承認リスト  
(approved list)

これまでに無かったクリエイティブで、  
これまでは出会えなかったユーザーと  
全く新しい形のコミュニケーションを実現。

# ブランド広告事業の進捗

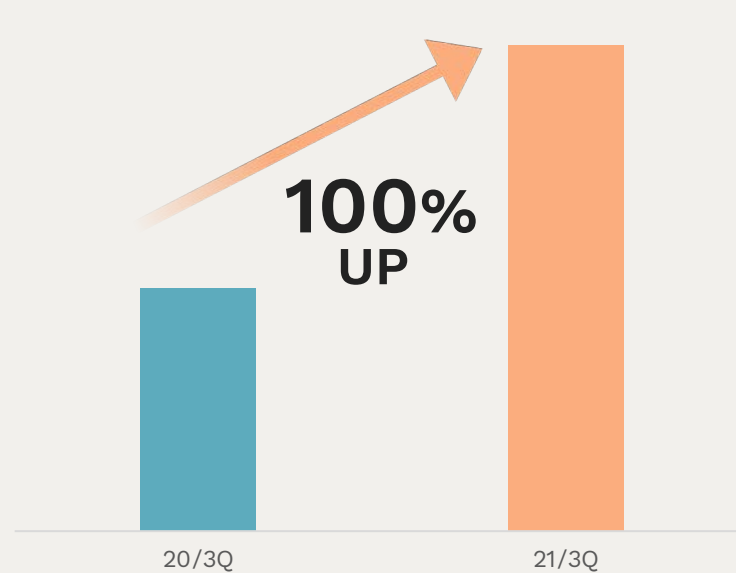
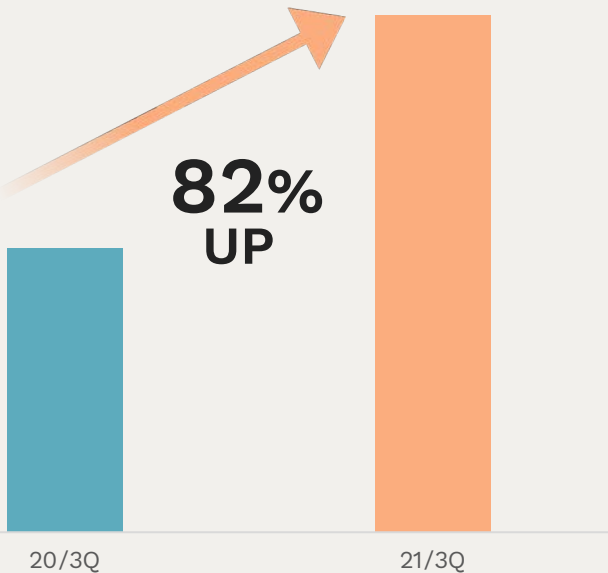
third quarter

売上高  
(前年同期比)

アカウント数  
(前年同期比)

82%  
UP

100%  
UP



Brand ads

取引実績



SONY

※名称順

博報堂DYメディアパートナーズ

資本業務提携の  
進捗

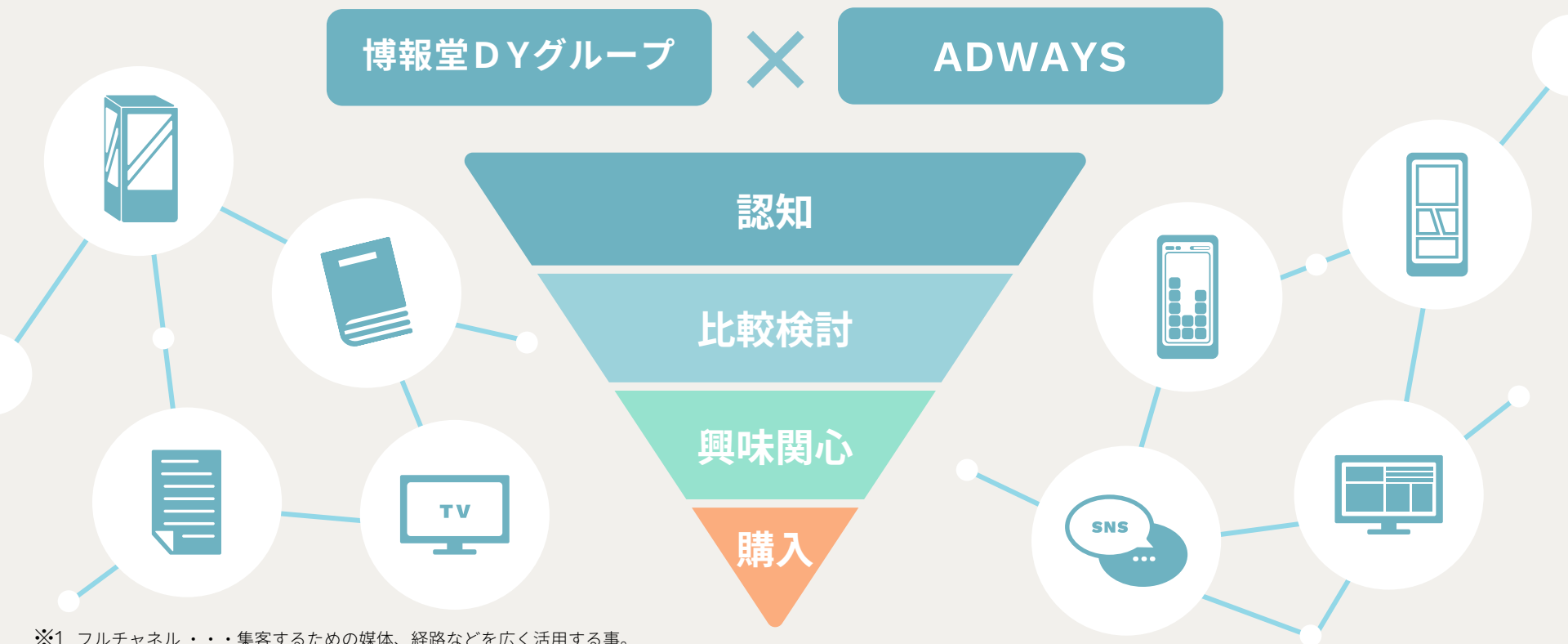
# TV&Digitalの統合プランニングによる包括的なマーケティング支援

フルチャネル※1・フルファネル※2での包括的なマーケティング支援を実現。  
マルチニーズ、マルチターゲットに対してアプローチが可能。

博報堂DYグループ



ADWAYS



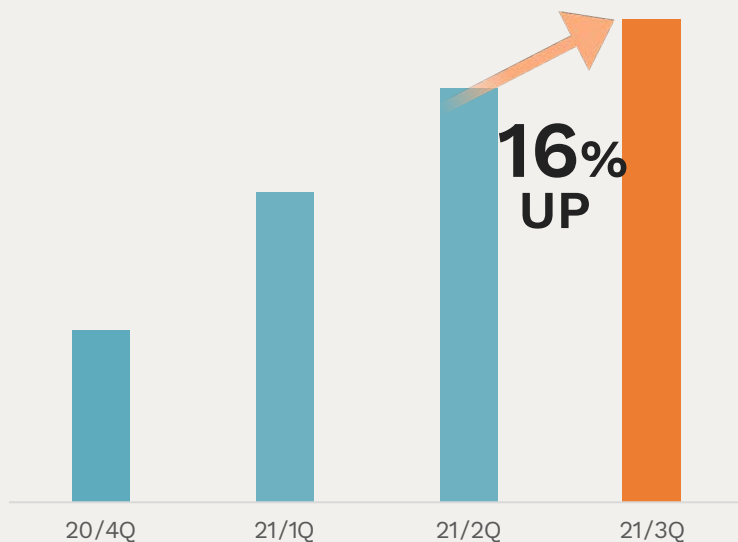
※1 フルチャネル・・・集客するための媒体、経路などを広く活用する事。

※2 フルファネル・・・消費者の商品に対する認知や検討、購入（利用）など多くの行動に対応する事。

# 資本業務提携の進捗

third quarter

## 博報堂DYグループ協業 アカウント数推移




大型アカウントも複数受注し、  
順調に増加。

## 選任チーム発足による 体制強化



※2020年12月末時点



# Beyond Everything Internet

インターネットの全てを越えていく

なにが  
すげー  
みんなの初めて

# 本日はありがとうございました

本資料は株式会社アドウェイズの事業及び業界動向についての株式会社アドウェイズによる現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。これらの将来の展望に関する表明はさまざまなリスクや不確かさがつきまとっています。既に知られたもしくは未だに知られていないリスク、不確かさ、その他要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。株式会社アドウェイズは将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、発表日現在において利用可能な情報に基づいて、株式会社アドウェイズにより2021年2月10日現在においてなされたものであり、様々な要因の変化等によって、実際の業績とは異なる可能性がありますことをご了承ください。

3

Chapter 3 : Supplementary materials

補 足  
資 料



# 連結売上高 年間業績推移

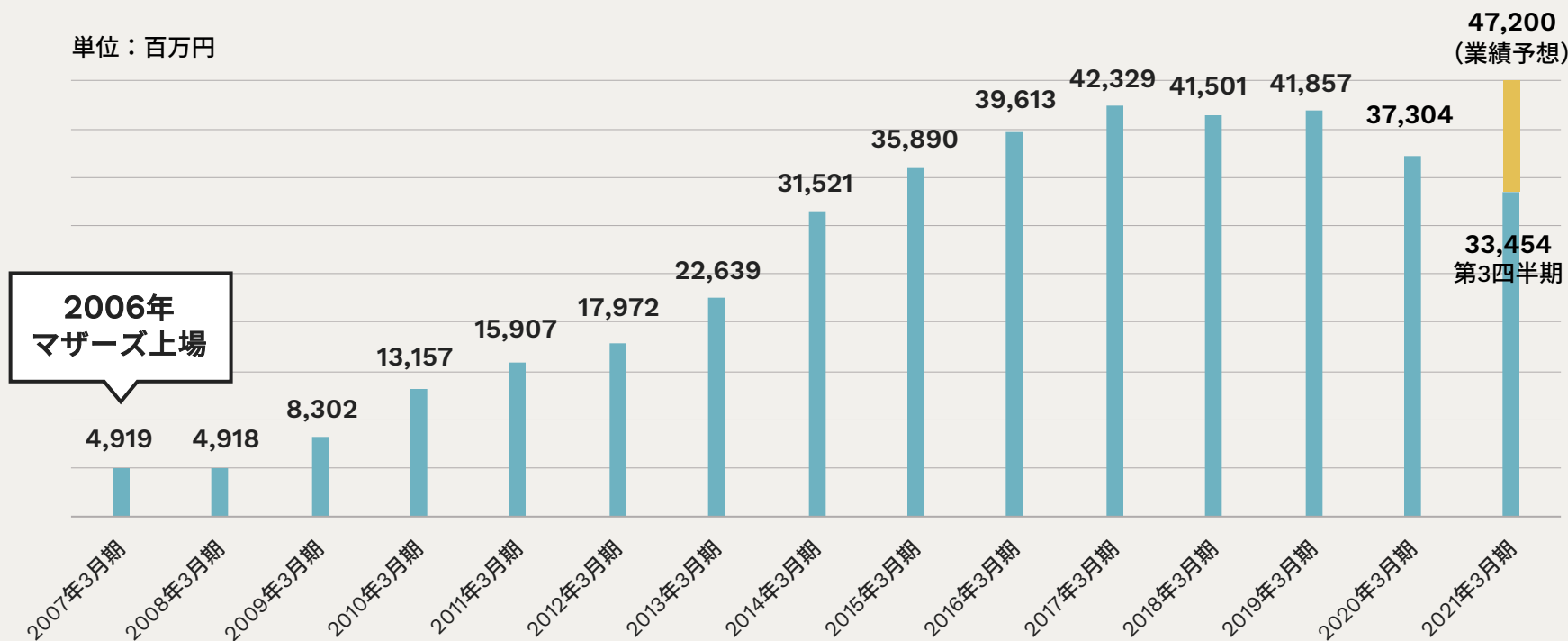
PC/フィーチャーフォン  
アフィリエイト事業に注力

スマートフォン広告事業  
の開始と拡大

海外への注力

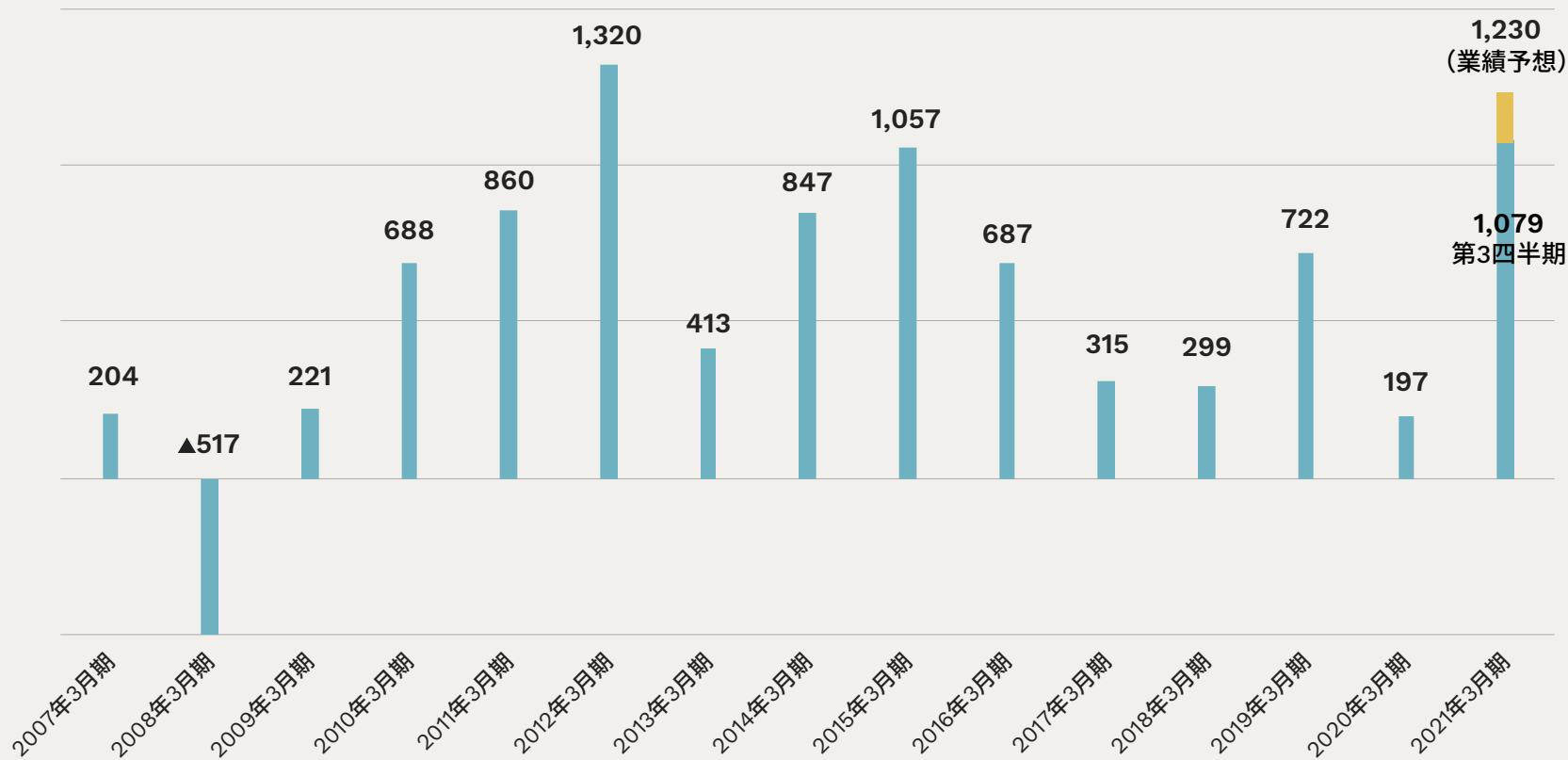
新規プロダクト  
への注力

単位：百万円



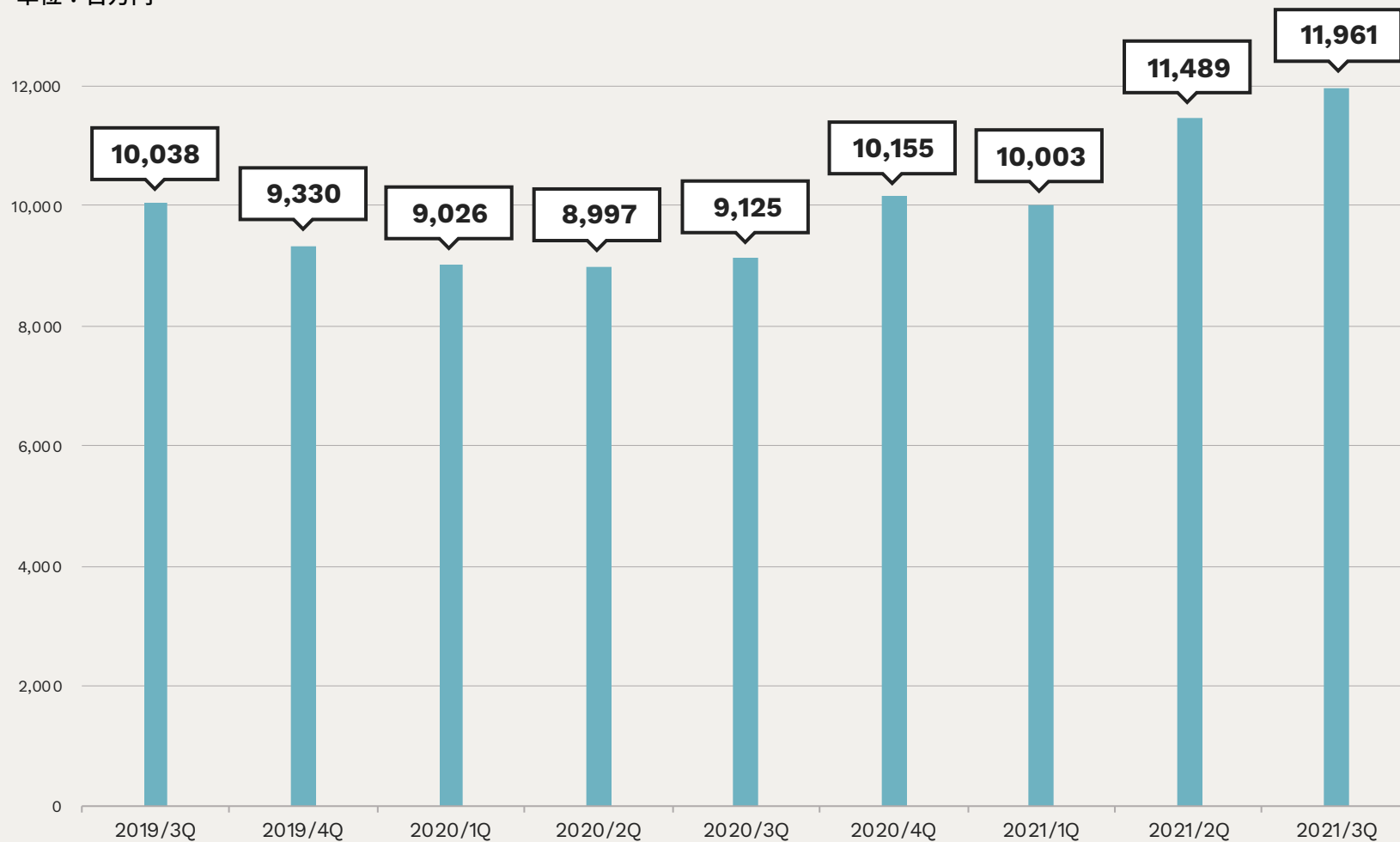
# 連結営業利益 年間業績推移

単位：百万円



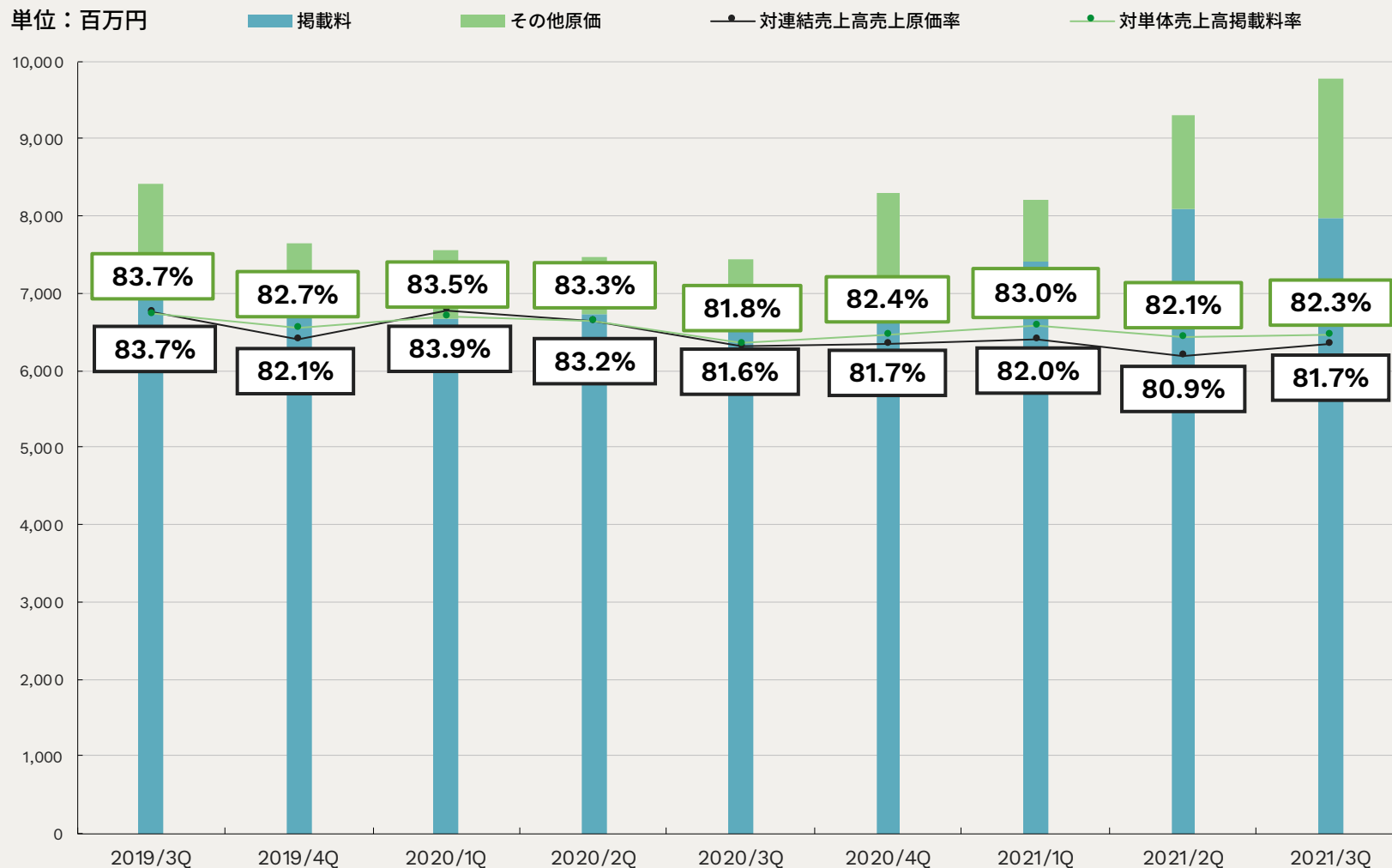
# 連結売上高 四半期推移

単位：百万円



# 連結売上原価 四半期推移

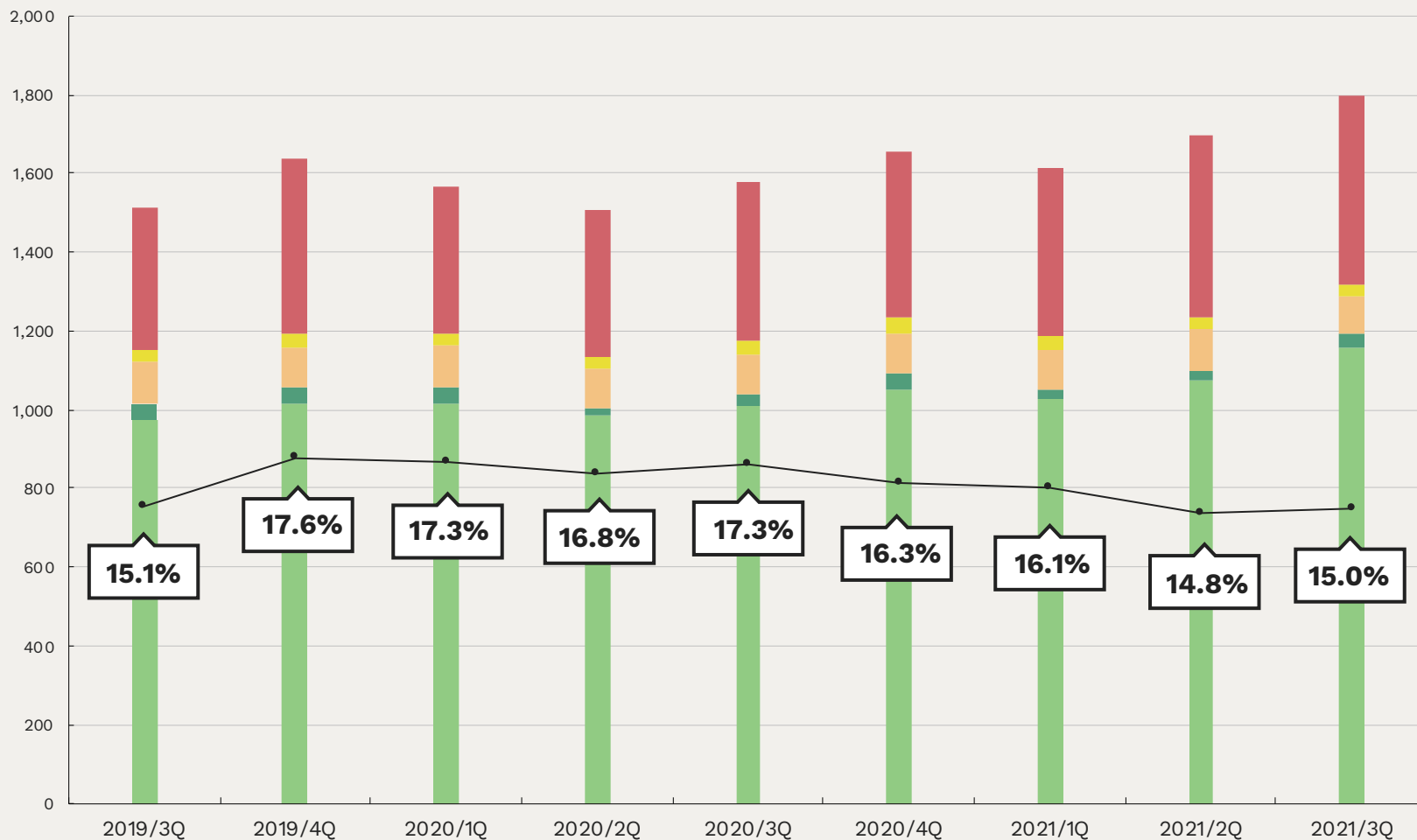
単位：百万円



# 連結販管費 四半期推移

単位：百万円

■ 人件費 
 ■ 採用教育費 
 ■ 地代家賃 
 ■ 減価償却費 
 ■ その他経費 
 ● 対連結売上高販管费率

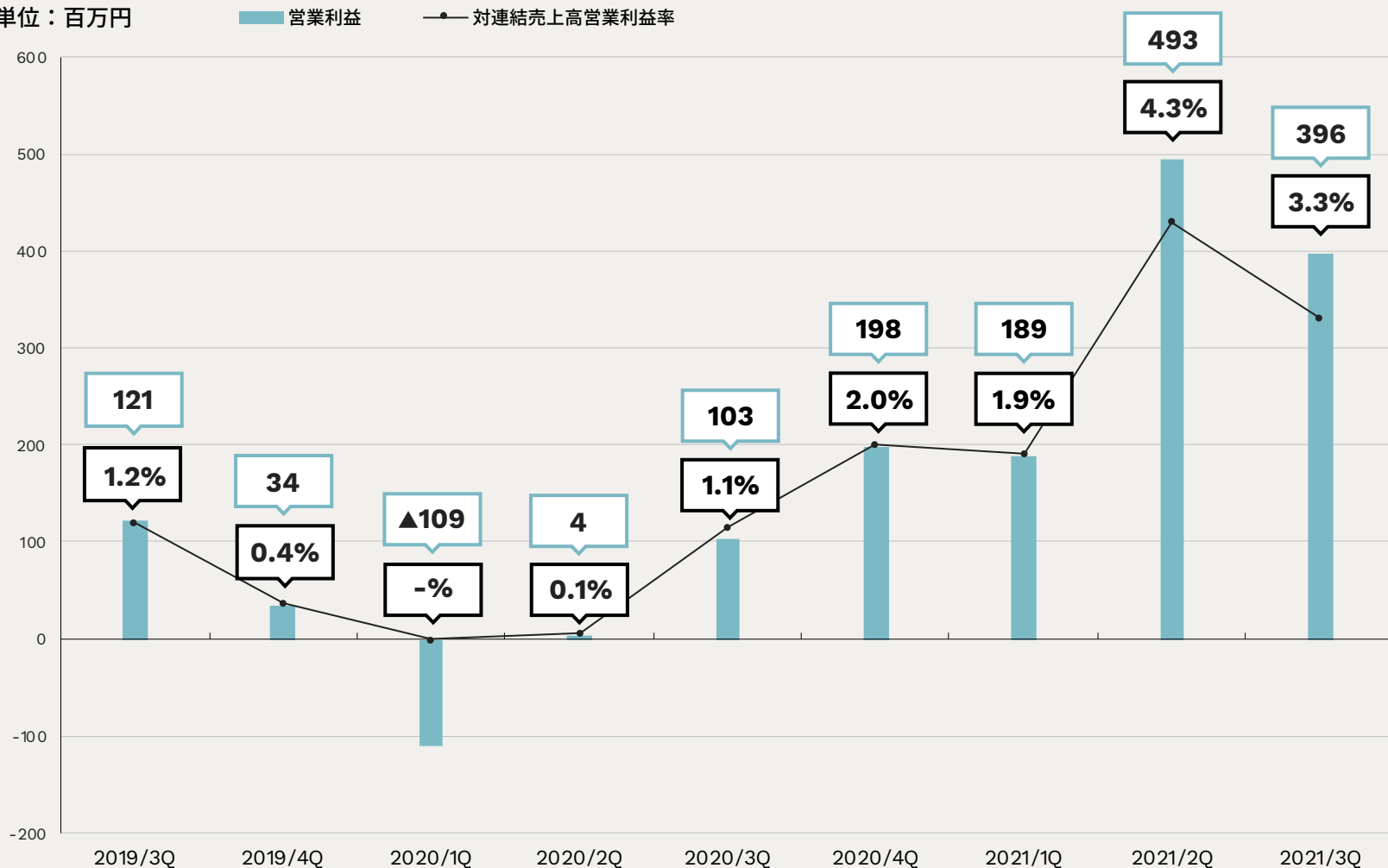


# 連結営業利益 四半期推移

単位：百万円

■ 営業利益

● 対連結売上高営業利益率

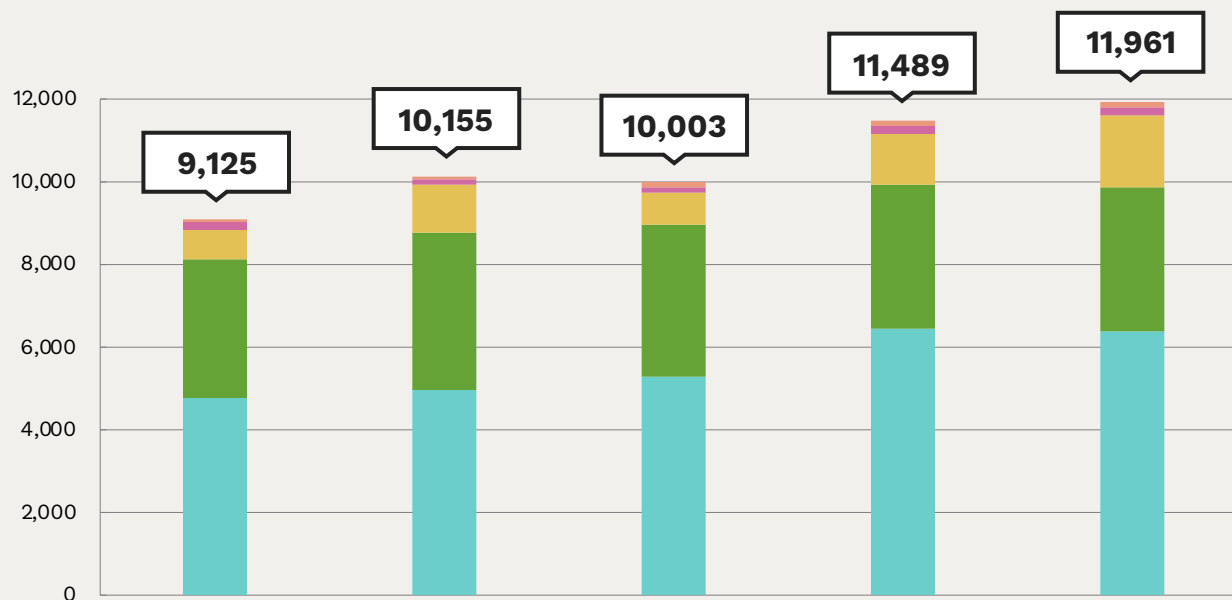


# 連結貸借対照表(前四半期比)

[ 単位：百万円 ]

	2021年3月期3Q	2021年3月期2Q	増減額	増減率
流動資産	19,105	17,664	+1,440	+8.2%
(現預金)	11,973	11,361	+612	+5.4%
固定資産	3,602	2,809	+793	+28.2%
総資産合計	22,708	20,474	+2,233	+10.9%
流動負債	8,575	7,333	+1,241	+16.9%
固定負債	346	149	+197	+132.7%
負債合計	8,922	7,483	+1,439	+19.2%
純資産合計	13,785	12,991	+794	+6.1%

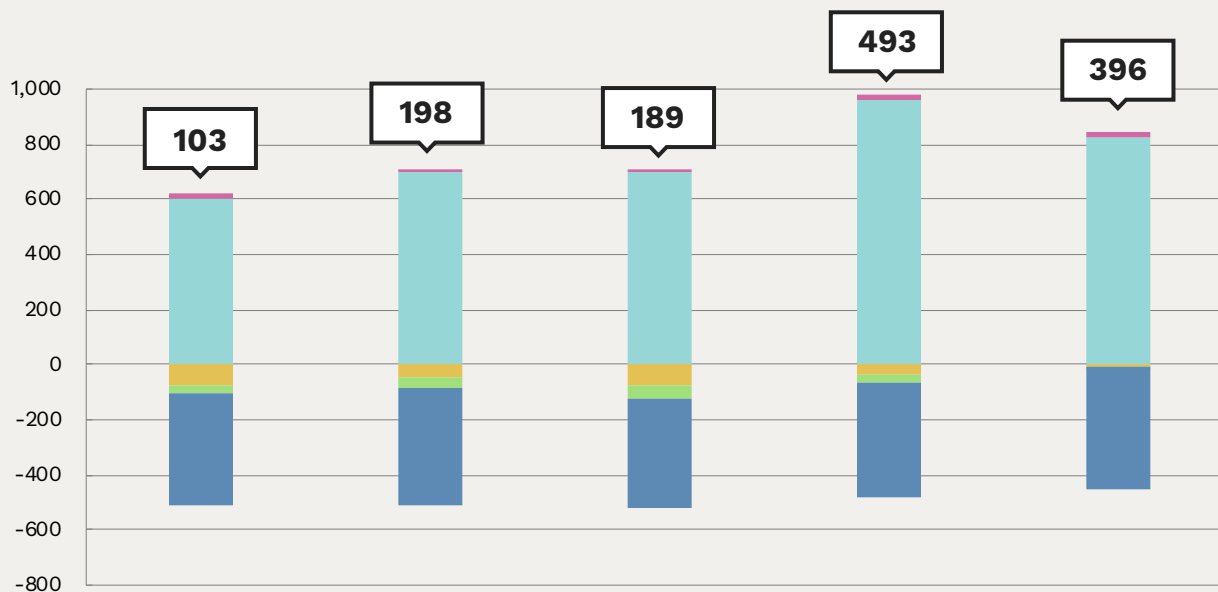
# セグメント内訳別連結売上高構成比 四半期推移



	2020/3Q	2020/4Q	2021/1Q	2021/2Q	2021/3Q	前四半期比	
						増減額	増減率
スマートフォン	4,765	4,957	5,306	6,458	6,408	▲50	▲0.8%
インターネット	3,379	3,784	3,629	3,446	3,429	▲16	▲0.5%
海外	704	1,167	814	1,261	1,744	+482	+38.3%
メディアコンテンツ	153	162	146	190	202	+12	+6.3%
その他	122	82	106	132	176	+43	+33.2%
合計	9,125	10,155	10,003	11,489	11,961	+471	+4.1%

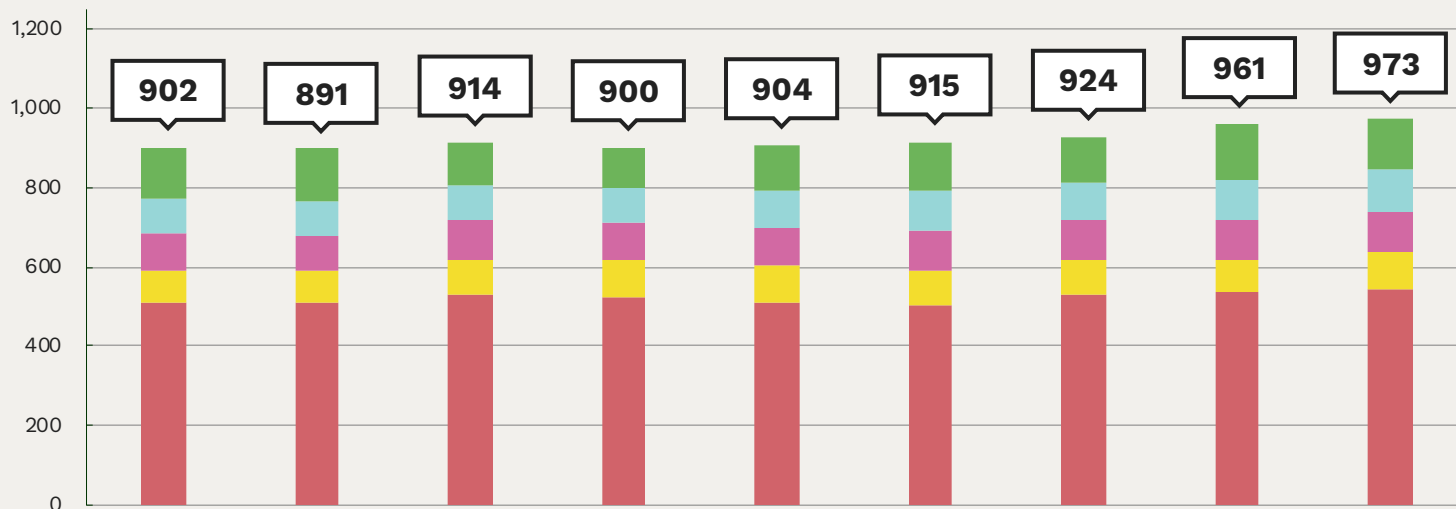


# セグメント内識別連結営業利益構成比 四半期推移



	2020/3Q	2020/4Q	2021/1Q	2021/2Q	2021/3Q	前四半期比	
						増減額	増減率
■ 広告	605	699	697	960	828	▲132	▲13.7%
■ 海外	▲79	▲50	▲77	▲34	▲5	+29	—
■ メディアコンテンツ	14	10	11	17	20	+3	+19.7%
■ その他	▲21	▲38	▲49	▲27	▲4	+22	—
■ 消去又は全社	▲414	▲423	▲392	▲423	▲442	▲19	—
合計	103	198	189	493	396	▲96	▲19.5%

# 当社グループの従業員数 四半期推移



単位：名		2019/3Q	2019/4Q	2020/1Q	2020/2Q	2020/3Q	2020/4Q	2021/1Q	2021/2Q	2021/3Q
■	日本アドウェイズ	509	510	533	521	512	506	533	535	546
■	中国アドウェイズ	80	78	84	95	91	88	82	83	90
■	国内子会社	93	90	102	99	96	100	102	100	105
■	海外子会社 (中国以外)	91	90	85	87	92	96	98	104	107
■	派遣/アルバイト等	129	123	110	98	113	125	109	139	125
	合計	902	891	914	900	904	915	924	961	973

# 会社概要

会社名	株式会社アドウェイズ (英名 : Adways Inc.)
設立年月日	2001年2月28日
事業概要	インターネット関連事業
代表者氏名	岡村 陽久
資本金	1,608百万円 [ 2020年12月末日現在 ]
売上高	37,304百万円 [ 2020年3月期連結 ]
従業員数 <small>※臨時雇用者含む</small>	973名 (グループ全体) [ 2020年12月末日現在 ]